



可能性追求 新天地へ

生活科・総合学習部門

高橋伸明教諭

受賞が転機となり、新たな一歩を踏み出した人もいる。

生活科・総合学習部門で最優秀賞に輝いた高橋伸明教諭(31)は、公立高を辞めて4月に早稲田大学院教育学研究科博士後期課程に進む一方、私立新渡戸文化中学・高校(東京都中野区)で教壇に立



高橋教諭

っている。新天地に身を置いたのは、総合学習の可能性を更に追求したいと考えたからだ。

高橋教諭は、国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)推進企業を生徒が取材する試みを公立

高で実施した。キャリア教育にもつながる実践は、生徒の自己肯定感を増大させたなどとして高い評価を受け、受賞につながった。

受賞後、「総合学習の研究を深め、将来は教員を志す学生を育成したい」と一念発起。大学院に進む傍ら、教科横断型授業などに力を入れていた。私学の実践を公立高にも波及させて教育全体のレベルを上げていきたい。そんな夢を追いかけている。

2021年5月20日

読売新聞朝刊掲載

「第70回読売教育賞 応募受け付け中
最優秀賞の現場から」より抜粋